

## 地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	鳥羽市地域住宅計画
②都道府県名	三重県
③計画作成主体	鳥羽市
④計画期間	平成 17 年度 ～ 22 年度
⑤計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な住宅を供給することにより、より豊かな暮らしが実感できる地域づくりを実現する。</li> <li>・自らが住む地域へと関心が広がり、地域づくりにつながるような住宅及び環境の向上を実現する。</li> <li>・災害に強い安全で安心な住まいづくりを実現する。</li> </ul>
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	鳥羽市において評価を行う(平成 23 年 3 月)
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「良好な公営住宅の供給戸数」            定 義：建設が予定されている団地の建設戸数            評価方法：建設を行なった団地の建設戸数            結 果：従前値:32 戸（17 年度）⇒目標値:48 戸（22 年度）⇒<u>実績値:58 戸</u>            結果の分析：当初の目標であった 48 戸から、より住民のニーズに対応するよう高齢単身者用、障がい者世帯用を設置し 58 戸を整備しました。施設のバリアフリー化など、住みやすい住環境を整えました。</p> <p>指標②：「景観改善等のストック更新がされた公営住宅の割合」            定 義：市内における公営住宅の改善工事された住宅の戸数            評価方法：市内における公営住宅管理戸数に対する改善工事された住宅の戸数            結 果：従前値:0 戸（17 年度）⇒目標値:160 戸（22 年度）⇒<u>実績値:160 戸</u>            結果の分析：大規模な改善工事を実施し、外壁の耐久性と防水機能の向上を図り住環境の向上と安全性を確保しました。</p> <p>指標③：「駐車場が整備された公営住宅の割合」            定 義：市内における公営住宅のうち駐車場が整備された住宅の割合            評価方法：市内における公営住宅管理戸数に対する駐車場が整備された住宅の比率            結 果：従前値:5.4%（17 年度）⇒目標値:51%（22 年度）⇒<u>実績値:9.8%</u>            結果の分析：指標①の建設とともに駐車場 58 台の整備は実施できたが、その他の団地については実施することができなかった。</p> <p>指標④：「バリアフリー化された公営住宅の割合」            定 義：市内における公営住宅のバリアフリー化された住宅の割合            評価方法：市内における公営住宅管理戸数に対するバリアフリー化された住宅の比率            結 果：従前値:1.3%（17 年度）⇒目標値:4.2%（22 年度）⇒<u>実績値:6.0%</u>            結果の分析：指標①の住宅においてバリアフリー化を実施しました。</p> <p>指標⑤：「木造耐震診断実施戸数」            定 義：市内における昭和 56 年以前の木造住宅で耐震診断実施戸数(公的支援のみ)            評価方法：市内における昭和 56 年以前の木造住宅で耐震診断実施戸数(公的支援のみ)            結 果：従前値:36 戸（17 年度）⇒目標値:136 戸（22 年度）⇒<u>実績値:161 戸</u>            結果の分析：広報等で周知を行い、目標値を上回る 161 戸の住宅で実施することができた。</p>
⑧結果の公表方法	鳥羽市のホームページにて公表を行う。

### 3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等

⑨今後の住宅施策の取組への反映	今後も引き続き長寿命化計画に沿って、ストック改善を行っていき、住環境の向上と安全性を確保していきます。 木造住宅については東海・東南海・南海地震等の災害発生時の倒壊に危険性をなくすため、今後も周知を行っていき、耐震診断等実施戸数の増加に努めます。
⑩その他	特記事項なし